



研究テーマ

看護理論の修得過程 / 人権・倫理教育の構築

キーワード：看護理論、人権・倫理、医療・看護の歴史

領域・氏名

看護（基礎看護学）准教授 / 毛利聖子

概要

ナイチンゲール看護論を軸に、よりよい看護実践ができるように、看護理論を修得するプロセスや看護理論の活用について、看護理論と実践の往還を中心に研究しています。また、医療や看護の歴史をたどり、人権を護り、人間に対する深い理解と倫理観を培う教育内容の構築を目指しています。

具体的な内容

実践の現場で対応困難な事例、方向性が見えない事例など、事実を整理し、事例検討会を行っています。どのように対象をみていけばよいのか、どこにどのような問題が存在しているのか、など看護理論を活用し検討しています。

また、看護の基盤となる人間の見つめ方、人間理解を深めるために、人間が病む人をどのように見つめて来たか歴史を辿り、現在の人権擁護・医療者の倫理を考えます。

Information

事例検討会のチューターを行っています。「科学的看護論」の理論枠組みに基づく「実践方法論」を適用し、よりよい看護実践に向けて共に考えていきます。看護の基盤となる考え方をもとに、看護の質向上をめざした取り組みを現場の皆さんと共に行っています。

著書:『看護理論の修得過程における共通構造の可視化』

実践報告:「事例検討会における看護師長・副看護師長の看護管理者としての成長～「ナイチンゲール看護論」を基盤として～」

研究報告:『看護学生が学ぶ「人権論」の授業への試み』

短報:『看護学生の「医の歴史と倫理」の授業からの学び』